

# 1期生が新成人に祝宴

## 松本秀峰中等教育学校 有志企画



前校長の小宮山さん(左)からお祝いの言葉を受ける1期生ら

県内初の中等教育学校として2010年4月に開校した松本市の松本秀峰中等教育学校で7日、16年3月に卒業した1期生が新成人となったこと

を祝い合う「ホームカミングデー」が開かれた。1期生約80人のうち69人と教職員や保護者ら計約120人が参加。6年間を共に過ごした仲間や恩師らと再会し、大人の仲間入りを喜び合った。

1期生の有志が企画し、学校側が会場の提供などで協力した。ビールや清涼飲料水で乾杯した後、壁のスクリーンに在学当時の写真などを放映。参加者たちは「懐かしいね」と笑顔を見せていた。

幹事を務めた都内の大学2年生、今井梨夏子さん(20)は「進学先もばらばらで仲間と会うのは難しい。高校時代に戻ったようでうれしい」と話していた。

小坂共栄校長と共に同校の開校準備に携わった前校長の小宮山淳さんは、あいさつで1期生との6年間の思い出を振り返った。その後の取材に「彼らと共に試行錯誤しながら校風や文化をつくってきたので感無量」と話した。